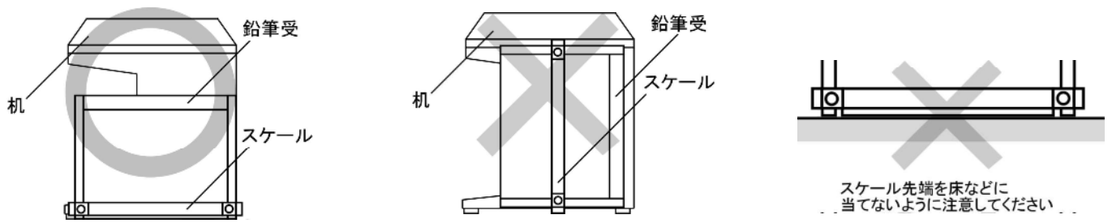
⚠注意

- ライナーボードは精密機器です。直射日光や高温、高湿でのご使用は避けてください。
- 図板には、磁気を使用したカードやディスク等を置かないでください。
  データが消失することがあります。
- ライナーボードを縦置きする場合は、下の図のように鉛筆受けを上にして、カーソルを下へおろしてください。下の右図のように置くと破損の原因となります。
  また、カーソル先端を床などに当てないように注意してください。



保証書とアフターサービス

① 梱包箱に保証書がついています。お確かめください。
② 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
③ 保証期間中に保証の範囲内で修理を依頼されるときは、保証書を添えて、お買い上げの販売店またはお近くの弊社各営業所に依頼してください。無償で修理いたします。
④ 保証期間を経過した場合、および保証の適用を除外された故障の場合でも迅速確実に修理いたします。ただしこの場合には実費のご負担をお願いいたします。（詳しくは保証書をご参照ください）

- **「ライナーボード及び、関連情報ホームページ」**

弊社製品に関する情報を、以下のホームページより確認いただけます。

http://www.mutoheng.com/

- **「ＦＡＱ 及び、メンテナンスについてのホームページ」**

お客さまからよくあるお問い合わせと、解決方法に関する情報及び
設計機材製品のお取扱方法などの情報を、以下ホームページで確認できます。

http://www.mutoheng.com/dr

仕様

製図板	マグネード製図板
製図範囲	442×600mm
図板サイズ	451×604mm
図板角度	1°, 5°, 10°

駆動方式	シンクロベルトシステム
スケール微動調整	±3mm / 600mm
ヒンジ	ダブルヒンジ機構
外形寸法	513×689mm
質量	3.2kg

MUTOH

株式会社ムトーエンジニアリング

〒154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3 **TEL （03)-6758-7120（代表）**

●保守・サービスのご用命は、上記ＨＰより最寄りの営業所までご連絡ください。

Ver1.0 2015.05

MUTOH

取扱説明書

OPERATION MANUAL

LINER BOARD

UM-06N7

ライナーボード

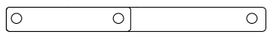
このたびは、ライナーボード UM-06N7 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してお取り扱いください。

なお、本製品は十分に調整しておりますが、万が一アフターサービスを依頼されます場合は、事前に本取扱説明書を基に再度点検のうえ、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。

付属品をご確認ください

- キャリングバッグ
  1 個

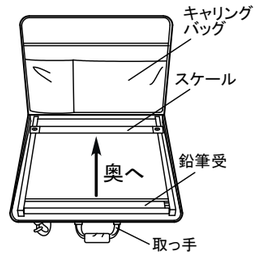
- ドラフティングプレート
  300mm×2 枚、500mm×2 枚



- 保証書
  1 枚

キャリングバッグへの収納方法

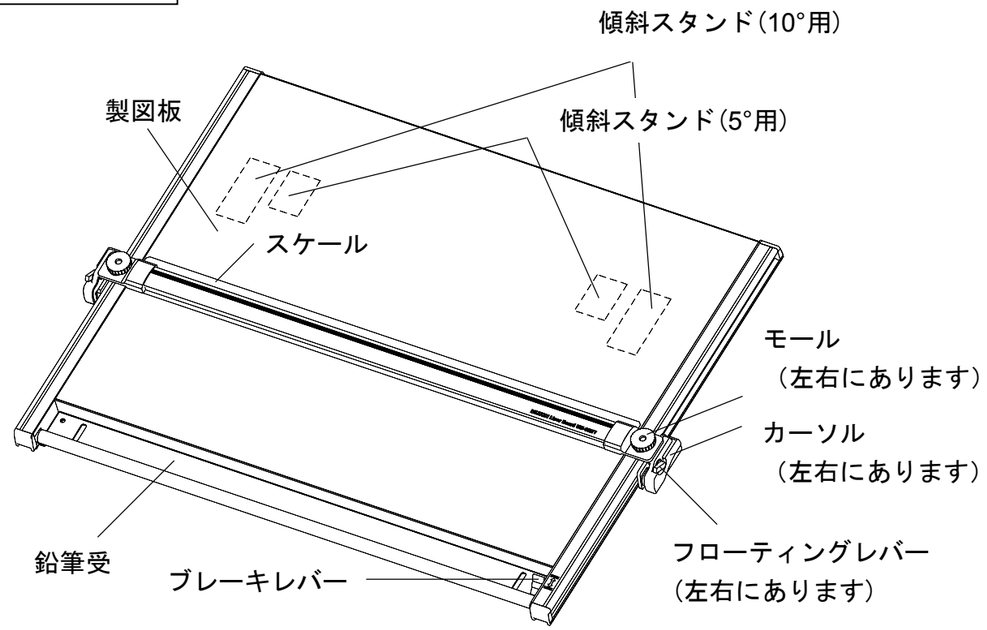
ライナーボードをキャリングバッグへ収納する際は、右図を参照し、
スケールを奥側へ移動させ、鉛筆受けを取っ手側にして収納してください。



⚠注意

ライナーボードを持ち運ぶときは、キャリングバッグに衝撃を
与えないでください。

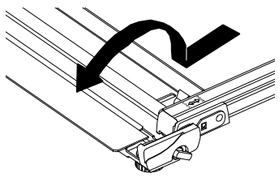
各部の名称



各部の操作方法

図面の貼り替えと図板の清掃方法

スケールを一番手前に移動すると、スケールが反転できます。
図面の貼り替えや図板の清掃などに便利です。

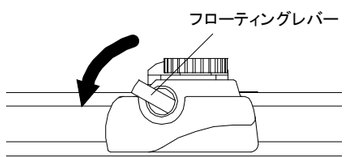


⚠注意

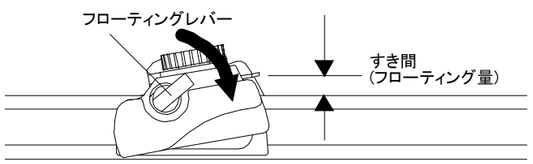
清掃する場合は、シンナーなど樹脂部分を侵すものは絶対に
使用しないでください。変色、変形の原因になることがあります。

フローティング調整

●フローティング量をゼロにしたいときは、フローティングレバー(左右)を手前に回転させます。
●フローティング量を大きくしたいときは、フローティングレバー(左右)を奥に回転させます。



フローティング量をゼロにする

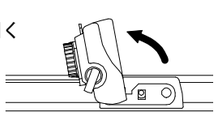


フローティング量を大きくする

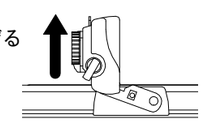
参考

本製品はダブルヒンジ機構を採用しています。したがって、スケールを手前に起こすだけでなく、
スケール全体も 8mm 程度持ち上げることができるため、厚紙にも対応可能です。

手前に開く



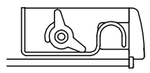
上方向へ持ち上げる



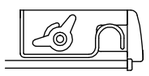
スケールの固定方法

鉛筆受け右側のブレーキレバーを手前側に倒すとスケールを固定することが
できます。また、ブレーキレバーを奥側へ倒すと解除することができます。

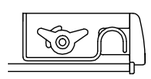
ロック ○

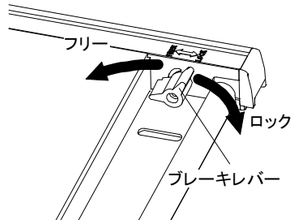


フリー ○



×



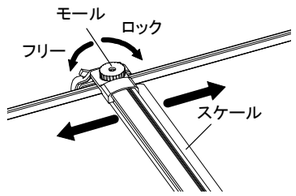


⚠注意

ブレーキをロックさせた状態では、スケールに負荷をかけないでください。故障の原因になります。
また、長時間使用しない場合には、ブレーキをフリー状態にして保管してください。
ロック状態のまま長時間保管した場合、再使用の際に、ブレーキが解除できない場合があります。

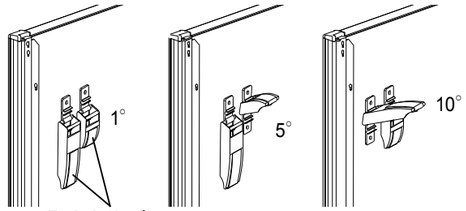
スケールの角度調整

左右のモールを緩めると、スケールを±3mm の範囲で調整できます。
調整後は左右のモールを締めてご使用ください。
スケールを基線に合わせるときに便利です。
角度調整はフローティング量をゼロにして行い、左右のカーソルが
平行な状態でモールを締めてください。



製図板の角度調整

製図板に角度をつけたい場合は製図板裏側の傾斜スタンドを
立ててご使用ください。
図板傾斜角度は 1°、5°、10° の 3 段階でご使用いただけます。
傾斜スタンドには滑り止めのゴムがついていますので、
安定して設置することができます。



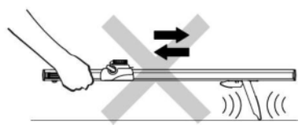
滑り止めゴム

⚠注意

傾斜スタンドを 10° の状態でフローティングさせた場合、スケールが自重により手前側へ
滑り出すことがあります。その際は手を添えてご使用ください。

⚠注意

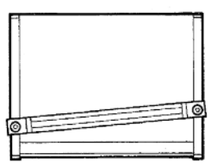
本体を移動させる場合は必ず、持ち上げて移動させてください。
傾斜スタンドを設置面に接触させたまま移動させると、
スタンドの滑り止めゴムによりスタンドが倒れる場合があります。



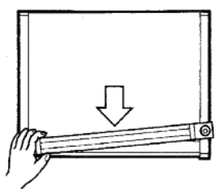
スケールが傾いている場合の平行調整

スケールに衝撃などが加わり、スケールが傾いた場合は下記の手順で調整してください。　〈解説〉

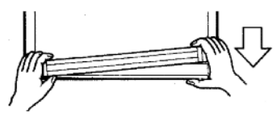
①スケールが傾いている場合



② 一方をストッパーに当たるまで手前に引き寄せます。



③引き寄せた方を押さえ、もう一方をゆっくりと強く手前に引きます。このときカチッと音がして、2mm 程度平行方向に動きますので、これを繰り返して平行にします。



※この調整は、シンクロベルトの山とコロ山の歯飛び現象を直すものです。ゆっくりとていねいに引くだけで、
工具を使わず調整することができ、本体の精度に影響を与えません。